

日仏文化協会汐留ホール

東京都港区東新橋1-7-2 汐留メディアタワーアネックス1F



■交通機関からのアクセス

- ・都営地下鉄大江戸線「汐留駅」エレベーターFの1階から、汐留メディアタワーアネックスへ徒歩1分
- ・新交通ゆりかもめ「汐留駅」東出口から、汐留メディアタワーアネックスへ徒歩1分
- ・JR、東京メトロ・都営地下鉄「新橋駅」南改札汐留口より徒歩約7分

■お車でアクセス

首都高速道路 都心環状線 汐留I.C.より 約3分、銀座I.C.より 約5分

- ・東京駅より車で約8分
- ・羽田空港より車で約20分
- ・成田空港より車で約60分
- ・首都高速都心環状線「汐留IC」より車で約2分
- ・成田空港からエアポートリムジンバス本館発着

■駐車場のご案内

- ・駐車場1 タイムズ汐留メディアタワー(地下4F)
汐留ホールご利用のお客様に、駐車代金1時間410円のサービス券を汐留メディアタワーアネックス2階 日仏文化協会受付にて販売しております。(通常駐車代金1時間800円)
- ・駐車場2 ザ ロイヤルパークホテル 東京汐留(地下3F)

当日のホールへのお電話はご遠慮ください。
お問い合わせは、shikimachi.piano.studio@gmail.com 迄



Children's Piano Recital | 2021

式町ピアノスタジオ
TEL.03-6231-0221
(HP) <https://pianoitko.com>

Children's Piano Recital 2021

ロマン派を弾こう!

日仏文化協会汐留ホール

2021.11.14 Sun

主催：式町ピアノスタジオ

《こどもピアノ入門コースの部》13時00分 開場 / 14時00分 開演

《きッズピアノコース小学1年の部》14時45分 開場 / 15時00分 開演

《きッズピアノコース小学2-3年の部》15時45分 開場 / 16時00分 開演

《きッズピアノコース小学4年～高校の部》17時00分 開場 / 17時15分 開演

※進行状況で時間が遅れる場合がございます。ご理解、ご協力お願いします。



ご挨拶

本年は、1800年代のロマン派の作品を共通課題で取組んで参りました。ロマン派以前のウィーン古典派の譜面ではffやf,pのデュナーミク＝強弱法の指示がされるまでになり、モダンピアノの機能がほぼ完成しました。今回は、市民社会が成立して生活が向上した結果、一般家庭にもピアノが普及したロマン派の時代に生まれた作品に触れていきます。ロマン派の作品は、一般的には個人の内面を表現しているといわれますが、中には古典派の形式美を受け継いでいる作品もあり、社会が個人を尊重できる時代が到来したという変化をみるべきだと考えています。デュナーミクの表現の幅も豊富に登場しますし、アゴーギグ＝速度の緩急法も頻繁に登場します。ということは、ロマン派の作品は初心者にとっては少々扱いづらく、多くの課題を包含しています。シューマンは、f,pを中心としてff,mf,ppを交えて使用。ショパンは、最強音でfff,ff,piu f,f,mf,mp,p,piu p,pp,ppp(強い順から弱い順)まで使用しています。私のピアノをお願いしている調律師さん曰く、「音量は前後での関係だからね～」とおっしゃるのですが、弾く方は本当に戸惑いますね！

私がロマン派を弾くときには、一曲の中に内向性と外向性の双方が絶妙に絡み合って作品が完結しているという前提で譜面を捉えることにしています。シューマン、ショパンそしてリスト、チャイコフスキー等も独自の巧妙な手段で二つの性質を交えて作曲していることは数多くの作品に触れていくと少しずつ感じ取ることが出来るでしょう。今回、門下生と共に新しい視点でレッスンに臨むことが出来、充実した準備期間だったと振り返ります。前述のデュナーミクの記号の表現の付け方と楽語(イタリア語がメイン)にお手上げ!という方。音楽辞典を引きながら調べて新しい知識の獲得に励む方、進んで楽典を履修しようとする方など様々でしたが、作曲家が意図して書き込んだ指示の数々を皆様が正しく理解される様に日頃から質問する様に努めたいと再認識しました。寝て、食べて、というヒトの基本的な活動が出来れば、スラーとレガートを使い分けるのは、お箸とフォークを使い分けるという程度のものであってハードルの高いことではないと私自身考えておりますので未就学にも集中してスラーとスタッカートを教えこむように取り組んでいます。ピアノアドヴェンチャー シリーズのScale & Chord Book1の有用性についてはたくさんの生徒様にご賛同いただき、たった5本の指で上行し下行するという小さな手の幼児でも取組むことのできる練習の中でスラーとスタッカートをみるみるうちに自在に弾き分けられるように促すことが出来、大変嬉しく思います。これらの表現は、ロマン派のメロディーラインに頻繁に組み合わせられ出現するため欠かすことの出来ない学習内容です。またある程度理解が出来てきたら全調のカデンツ(終止形)を弾かせています。ロマン派の作品に於いてアルペジオ奏法、和音の転回型が頻繁に出てくる際の予習の効果がありますのでこれからも真面目に取り組んでください。

レッスンでは、子どもたちに表現上の複雑さにフォーカスして質問するときに、曲がモチーフ＝音楽の最小の単位の集積であり、拡大されたり縮小されているという感覚を持ってもらえるまで楽譜を見る時間を取ります。音一粒ずつの動きが譜面で見たときに線で繋がっているかどうかは、星座を見慣れていて「これ何座!」と言い切れる人と同じ様な感覚を持ち合わせていないと答えられません。しかし訓練した結果である様に見受けられます。もし、ピアノの音を出さずに音楽の線が頭の中で鳴らせることが出来れば、それはパーフェクトです。どうしても耳から入る情報に頼ってしまうと、本末転倒ですので暗譜するまで譜面の音の動きに目を向けましょう。百聞は一見にしかず、です。

楽譜の中の音楽はモチーフが組み合わせさせてテーマを成し、一番長い音に向かって音楽が進行し、その長い音で初めて空気と一体化する響きを捉えることが出来ます。終わる時にどんな終わり方が適切か、その都度即興的に鳴る響きを楽しみながら弾けているか確認します。片手の中における二声部以上の弾き分けや、二種類以上のアーティキュレーションの組み合わせも表現上の複雑さを感じる代表的な例です。テヌート(その音を十分に保って)が、時間的な長さの確保ではなくフレーズの結びの音に付いている場合は、鋭く尖った音ではなく深い丸い音が出るまで何度も弾いてもらい辛抱します。ピアノを弾く指にはタッチポイントがあり、一人一人の指先の形状により違うため体得するのに時間がかかります。ショパンの音楽では、鋭く尖ったアクセントは出て来ませんので、理想的なイタリアのベルカント唱法で柔軟な腕の動きを用いたレガートで弾いて欲しいです。良い演奏へと辿り着くまで本当に長い道のりですが、より論理的なアプローチが演奏時に出来る様な指導をしていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

レッスンの内容についてはお話をさせていただきましたので、次は今回取り組んできたロマン派の代表的な作曲家が、こどものために書いたアルバム＝作品集の価値についてお話させていただきます。これらのアルバムは、モダンピアノという楽器がほぼ完成形で実在したという事実の上で、劇音楽、交響曲などと同様に作品と対峙した結果仕上げられた作品群だということがわかります。それぞれの作曲家のこどものためのアルバムの成立過程に違いはあれど、人類の叡智が詰まった宝の山だと見ることが出来ます。小さな手で有名な曲に直ぐ取り掛かるというのも悪くは無いのですが、出来れば一瞬しかないこどもの時期にこれらのアルバムから数曲学習して音楽の基礎力をつけることを提案いたします。リズム、ハーモニー、アーティキュレーション、テンポ、デュナーミク様々な要素が絡みあい、全てに注意力を向けられる様になるまで練習する事が出来たらが次の段階への準備の完了です。その先のつまづきを軽減するためにも課題は、それぞれのレベルにあった選曲で良いと思っています。

それから、ロマン派を演奏する際には是非とも深呼吸をし、音の向こう側の世界へ踏み出す気持ちを持って弾き始めて欲しいものです。音楽が短期的に様々な調へ転調していくのは、未知な世界へと連れていかれる感覚に似ているからです。現代人は利便性の高い優れたものやシステムを構築して生活していますが、色々な規制の中で生活しているともいえるので、ロマン派の市民生活との隔たえと、その時代の音楽に同調するモードへ切替ることは指の訓練に取組むよりも難しいのではないのでしょうか。なぜならば、指の訓練は基本的に肘・手首を振らずに固定した美しい手のフォームでの水平な運動の繰り返しであって、前腕に過度な傾斜を付けることは少ないのですが、ロマン派の作品を十分に歌いこもうとすると直立不動の上半身ではうまくはいかず作品の方から自ずと柔軟な身体表現が求められるからです。日常生活では意識にくい上半身の体重移動にフォーカスしてみましょう。深い呼吸で身体が整い身軽さが感じられたら練習に取り掛かる段階です。

1か月程前ですが、ピアノとは関係のない美容室の会話の中で「起き上がり小法師」の話題が出たことがあります。私自身幼少期に触れたことが無いため名前を知らなかった重心を利用した玩具の一つですが、皆様はご存知でしたでしょうか。福島県会津地方の方にとっては赤べこの次に馴染みのある伝統工芸品だそうです。地域によっては丸底人形、roly-poly toyと呼び縁起物でもある上、実によくできているので今後レッスンにも取り入れたいと思います。

〈シューマン こどものためのアルバム作品68の成立過程〉

1830年代のシューマンは妻クララからの依頼というよりは要請でピアノ曲を多数作曲した。シューマンの作品番号Op.1からOp.23までは全てがピアノ作品である。その後1840年の1年は100曲以上の歌曲を生み出し「歌曲の年」と呼ばれている。この年の作品は「リーダークライス Op.24」「ミルデの花 Op.25」「ケルナーの詩による12の歌曲」「リーダークライス Op.39」「詩人の恋 Op.48」などの曲集である。この年ピアノ曲「ウィーンの謝肉祭の道化 Op.26」も作曲している。

1841年は「交響曲の年」と呼ばれている。「交響曲第1番『春』」と、「交響曲第4番」の初稿を作曲。1842年は「室内楽の年」と呼ばれており、弦楽四重奏曲Op.41」「ピアノ5重奏曲Op.44」「ピアノ4重奏曲Op.47」集中的に同じジャンルを作曲する態勢だったことがうかがえる。

「こどものためのアルバム 作品68」は、シューマン家の日常の情景を映し出した様な、父親としての眼差しで書き出された私的な作品集である。1848年、43曲の作品集として初版譜が構成されたが、60曲構想や34曲構想などイメージが交錯していたとも思われ〈娘マリーのための誕生日のアルバム〉を出発点として〈ピアノ演奏の好きな子供たちのためのクリスマスのアルバム〉や〈ピアノを演奏する8歳から10歳までの子供のための音楽のクリスマス・アルバム〉とタイトルも変遷していった。その多くが春夏秋冬の四季や自然を扱った作品が多く、四季を表現した作品集としての構想が念頭にあったようだ。

〈グルリット 24の旋律的練習曲・こども音楽会 作品210・こどものためのアルバム 作品140の特色〉

グルリットは、リヒナー、ストリーボッグ、ラング、エステンのこどもの作品と同じく、こども用として大変親しまれているサロン風の作品を書きあげた。1820年生まれのドイツの作曲家。美しいメロディーラインが特徴的な作品が多く、その際立たせ方と抑揚の付け方を学ぶことができる。通常、人の声で歌うことが可能な音域で書かれており、ヨーデルの歌唱法を使っている部分も見られる。

「24の旋律的練習曲」は、ワンフレーズの中でのリズムの組み合わせを正しく良いテンポ設定の中で弾くことを身につけるのに適している曲集でツェルニー30番程度、あるいはソナチネの学習を始めたくらいで程度で弾くことが出来る。まだ始めて間もなく発表会へ出るという生徒には、バイエル後半程度で弾ける易しい曲で、ハ長調を主体に34曲が収録されている「こども音楽会 作品210」をすすめて選曲した。「こどものためのアルバム 作品140」は、20曲が収録されており、ツェルニー100番、110番、ブルクミュラー25の練習曲程度の曲集である。ハ長調について、ハ長調とト長調が多く、フラット2つの変ロ長調と4つのヘ短調がわずかに出てくる程度なので取り組みやすい。第20曲シュトルム ウントドラング ニ短調は18世紀後半に起こったドイツの文学運動で、日本では疾風怒濤と訳され個人の感情の強度を極度に意識する思想。ロマン的情緒を表してる。

〈ケーラー こどものためのアルバム 作品210〉

ルイス・ケーラーもグルリットと同じく1820年生まれのドイツの作曲家で、生存中には指揮者としても活躍した。民謡や歌曲、有名なオペラのメロディーを素材として初歩者のために改編している。この曲集には、30曲が収められておりバイエル後半から終了後しばらく使用のできる曲集である。ロマン派特有の課題性を持つ作品集であり、ちいさなこどもの情景を想像することができる。第1曲お庭で、第5曲運動場で、第20曲学校のかえり、など日常の体験を連想する曲と第13曲ボルカ、第14曲メヌエット、第15曲ガロップ、第22曲ボルカ＝マズルカなどバロック期から今までヨーロッパで継承されてきた舞曲を組み合わせで配置している。このアルバム自体を履修した後のテクニックの獲得という目的もねらいとしてあるのではないだろうか。冒頭には、曲の演奏に取りかかる前に左右別々の練習、運指を守ること、3-4指、4-5指、3-4-5指の練習を毎日欠かさず行う様に指示している。

〈チャイコフスキー こどものための24のアルバム 作品39〉

このアルバムはロシアの作曲家、1840年生まれのピョートル・イリイチ・チャイコフスキーによってこどものために書かれた。こどものための音楽を豊かにしたいと念願していた作曲家から甥のヴォロージャ・ダビドフへ捧げられている。情感たっぷりと歌い上げるメロディーはまるでチャイコフスキーの交響曲の力作をピアノ版に編曲した様だ。ロシアの民族舞曲形式が3曲、抒情形式が2曲、ピアノによるロマンス形式が3曲。ペダルの使用も非常に多く、符点リズム、多声部の聴き取り、ワルツ、マズルカ、ボルカもケーラーと同様にロシアで一般的だった舞踏として取り入れられている。またロシアの音楽にとどまらず、ヨーロッパ各地の音楽を採集して作られた様な、第15曲イタリアの歌、第16曲古いフランスの歌、第17曲ドイツの歌、第18曲ナポリの歌も収録されている。始めて数年の理解でペダル付きで弾ける佳作が多い。シューマンのこどものためのアルバムとの関連が指摘される作品集でもある。

〈ハチャトゥリアン こどものアルバム 第1集 “少年時代の画集”〉

1903年生まれハチャトゥリアンは、カバレフスキー、ショスタコーヴィチなどと旧ソヴィエト連邦を代表する作曲家である。アルメニア人の両親のもとに生まれ、民族色の強い音楽を打ち出した。現代曲というジャンルは、古典派の作品とロマン派の作品とも違う全く異質な作りとなっており、後期ロマン派からの無調化の流れを汲んでおりこのアルバムのピアノ譜の大譜表の拍子の横に本来有るはずの調号が第1、9曲でしか付けられておらず、それ以外の曲では全て1音ずつに丁寧に記譜された変化記号(フラットやシャープ、フラット)があり、演奏者の読譜力が必要になる。古典的なルールから逸脱した刺激的にぶつかりあう不協和音だって鳴らすこともあるので場合によっては、度肝を抜かれる。ツェルニー30番程度の中程度の技巧によって弾かれる作品集であるがツェルニー40番程度のテクニックがあれば楽しんで弾くことができる。

講師演奏

♪ R.Schumann/Phantasie C-Dur Op.17 1st Mov. (シューマン/幻想曲 作品17 ハ長調 第1楽章)

私は、選曲の段階で煌びやかなシューマンの音楽のイメージがハ長調という地に足ついた堂々とした出だしで始まるという意外なところに惹かれました。前年取り組んだベートーヴェンのピアノ・ソナタ《ワルトシュタイン》のハ長調と同じ調性で流れを汲んでいる様に思われ、練習するときにもモチーフを重ね合わせ進める様にしています。この後に続く2楽章は変ホ長調でフラット3つが付けられおり、やはりベートーヴェンへの敬意を表しているのです。

この曲は、シェークスピアの翻訳家でドイツで高い評価を受けていたアウグスト・シュレーゲルがドイツ・ボン(ベートーヴェンの生誕地)にてベートーヴェン生誕65周年の記念碑健全のための寄付を芸術家に呼びかけた際に、シューマンが作品を作曲出版して寄付に充てることを考えつき生み出された作品です。フランツ・リストに献呈されました。第一楽章にはシュレーゲルの詩がつけられていて、第二主題で引用されているベートーヴェンの歌曲「はるかな恋人に寄す」の歌詞と見事に一致しています。そして、作曲の動機とは別にここでもクララへの私的な感情の表出がみられます。

ソナタというタイトルではないもののベートーヴェン受容の課題、ソナタ形式、文学と音楽、リストを意識した超絶技巧の妙技性から以前から取り組みたい作品でした。展開部の構造的にベートーヴェンのピアノ・ソナタ第28番第2楽章、レチタティーボは同じソナタの第3楽章と類似していますので、色々な要素が詰まった作品だと解釈できます。シューマンの作品は、どれもオン/オフモードがはっきりと示されており、それはめまぐるしく転調してゆきフロレスタンとオイゼビウスの二面性が音楽となって現れてきます。

1830年代の主要なピアノ作品は、妻クララ・シューマンを意識して書かれており、翌年1840年が歌の年となる1年前の1839年に初版が出版されたこの曲をクララが1866年にライプツィヒのゲヴァントハウス・ホールにて演奏しています。

PROGRAM

本日は、コロナ対策を講じた上で4つの部において開催する運びとなりました。
門下生が月齢順に登壇し、二曲続けて演奏いたします。
本年の共通課題の“ロマン派を弾こう!”に準ずる時代に作曲された作品と自由曲です。
どうぞ拍手でお迎えください。

《こどもピアノ入門コースの部》 13時00分～開場 14時00分～開演 演奏所要時間約30分

01

- ♪ German Folk Song/Sweet Dreams (ドイツ民謡/たのしいゆめ)
- ♪ Chihiro Todoroki/Walking (轟 千尋/おさんぽ)

02

- ♪ C.Gurlitt/Der erste Vortrag Little Song Op.210, No.2 (グルリット/こども音楽会より 小さなうた 作品210-2)
- ♪ German Folk Song/Kuckuck, Kuckuck, ruft's aus dem Wald (ドイツ民謡/かっこう)

03

- ♪ C.Gurlitt/20 Album für die jugend “Marsch” Op.140, No.1 (グルリット/こどものためのアルバム“マーチ” 作品140-1)
- ♪ S.Maykapar/Etude in A minor (マイカパル/エチュード イ短調)

04

- ♪ A.Rowley/Turkish Danse (ローレイ/トルコのおどり)
- ♪ R.Rodgers/Do-Re-Mi (R.ロジャース/ドレミの歌)

05

- ♪ F.Behr/French Child's Song Op.575, No.1 (ペール/フランスの子供のうた 作品575-1)
- ♪ C.Gurlitt/Der erste Vortrag Hunting Op.210, No.7 (グルリット/子ども音楽会より 狩の歌 作品210-7)

06

- ♪ C.Gurlitt/Albumleaves for the Young “The Fair” Op.101, No.8
(グルリット/子供のためのアルバムの綴り 第8曲 “おまつり”)
- ♪ LEARNING TO PLAY FOR YOUNG PIANISTS3/A procession of wagons passing through the west
(小さいピアニストのためにラーニングトゥ プレイ ブック・3/西部に行くほろ馬車の行列)

07

- ♪ C.Gurlitt/Polka in G Major (グルリット/ポルカト長調)
- ♪ L.v.Beethoven/Turkish March from The Ruins of Athens Op.113, No.4
(ベートーヴェン/アテネの廃墟 より トルコ行進曲 作品113-4)*連弾

08

- ♪ E.Humperdinck/Hansel und Gretel “Ein Männlein steht im Walde ganz still und stumm”
(フンパーディンク/ヘンゼルとグレーテルより “森のこびと”)
- ♪ H.C.Work/My Grandfather's Clock (ワーク/大きな古時計)

09

- ♪ L.Streabbog/Little Fairy Waltz (ストリーボッグ/小さい妖精のワルツ)
- ♪ Alan Menken/A Whole New World (アラン・メンケン/ホールニューワールド)

《きっずピアノコース小学1年の部》 14時45分～開場 15時00分～開演 演奏所要時間約30分

10

- ♪ G.Lange/Soldier's March (ランゲ/兵隊の行進)
- ♪ A.Khachaturian/Children's Album Book 1 Pictures of Childhood No.5 “Etude”
(ハチャトゥリヤン/こどものアルバム 第1集 少年時代の画集 第5曲 “エチュード”)

11

- ♪ C.Gurlitt/20 Album für die jugend “Bright Is The Sky” Op.140, No.3
(グルリット/こどものためのアルバム “明るい空” 作品140-3)
- ♪ J.Pachelbel/Fugue (パッヘルベル/フーガ)

12

- ♪ L.Köhler/Tyrolican Song Op.210, No.27 (ケーラー/チロルの歌 作品210-27)
- ♪ C.Gurlitt/Der erste Vortrag Noble Waltz Op.210, No.17 (グルリット/こども音楽会より 高貴なワルツ 作品210-17)

13

- ♪ J.F.Burgmüller/Gliding Over The Water (ブルクミュラー/水の上を滑りながら)
- ♪ C.Gurlitt/Jugend Album “Borelo” Op.62, No.5 (グルリット/こどものためのアルバム “ボレロ” 作品62-5)

14

- ♪ M.I.Glinka/Polka (グリンカ/ポルカ)
- ♪ A.Biehl/Sonatine Op.57, No.4, 1st Mov. (ビール/ソナチネ作品57-4 第1楽章)

15

- ♪ C.Gurlitt/Der erste Vortrag A Brave Man Op.210, No.6 (グルリット/勇気のある人 作品210-6)
- ♪ E.Breslaur/Die leichtesten Klavierstücke “Kaferhochzeit” Op.46, No.2
(ブレスラウアー/やさしいピアノ小品集より “かぶと虫の結婚式” 作品46-2)

16

- ♪ P.I.Tchaikovsky/Children's Album “German Air” Op.39, No.17
(チャイコフスキー/こどものためのアルバム “ドイツの歌” 作品39-17)
- ♪ A.Diabelli/Divertimento (ディアベリ/ディベルティメント)

17

- ♪ F.X.Chwatal/My little cute friend (シュワテル/かわいいおともだち)
- ♪ C.Gurlitt/Merry Hour D-Dur (グルリット/楽しい時間 二長調)

18

- ♪ F.Chopin/Mazruki in B flat Major, Op.7-1 (ショパン/マズルカ 変ロ長調 作品7-1)
- ♪ C.P.E.Bach/Polonaise in G minor, BWV Anh.125 (カール・フィリップ・エマニュエル・バッハ/ポロネーズ ト短調)



《きつずピアノコース小学2-3年の部》

15時45分～開場 16時00分～開演 演奏所要時間約45分

19

- ♪ H.Lichner/When You Dance (リヒナー/舞踏の時に)
- ♪ P.I.Tchaikovsky/Children's Album Op.39, No.13 “Kamarinskaya”
(チャイコフスキー/こどものためのアルバム “ロシアの踊り＝カマリンスカヤ” 作品39-13)

20

- ♪ R.Schumann/Kinderszenen “Träumerei” F-Dur Op.15, No.7 (シューマン/子供の情景 “トロイメライ” ヘ長調 作品15-7)
- ♪ Jean Clergue/Danse Rustique (ジャン・クレルグ/田舎のおどり)

21

- ♪ R.Schumann/Album für die Jugend “Wilder Reiter” a-moll Op.68, No.8
(シューマン/こどものためのアルバム “勇敢な騎士” イ短調 作品68-8)
- ♪ H.Lichner/On The Playground (リヒナー/仲良く遊びましょう)

22

- ♪ C.M.v.Weber/Thema (ウェーバー/テーマ)
- ♪ C.Gurlitt/24 Melodische Etuden “Frisch gewagt” Op.131, No.9
(グルリット/24の旋律的練習曲 “新しい門出” 作品131-9)

23

- ♪ M.Reger/Aus der Jugendzeit “Fast zu keck!” Op.17, No.12 (レーガー/青春時代より “生意気” 作品17-12)
- ♪ C.Gurlitt/20 Album für die jugend “Irrlichter” Op.140, No.15 (グルリット/こどものためのアルバム “鬼火” 作品140-15)

24

- ♪ J.P.Kimberger/Praeludium e-moll EngK 17 (キルンベルガー/前奏曲 ホ短調)
- ♪ L.Streabbog/Scherzo-Rondino (ストリーボッグ/スケルツォ・ロンディーノ)

25

- ♪ F.Mendelssohn/6 Kinderstücke Op.72, No.5 (メンデルスゾーン/6つのこども小品集 作品72 第5曲)
- ♪ F.F.Chopin/Waltz in C sharp minor Op.64, No.2 (ショパン/ワルツ 嬰ハ短調 作品64-2)

26

- ♪ H.Lichner/Gypsish Dance (リヒナー/ジプシーダンス)
- ♪ J.L.Dussek/Menuett in G Major (デュセック/メヌエット ト長調)

27

- ♪ F.F.Chopin/Waltz No.18 in E flat Major Oeuvre posthume (ショパン/ワルツ 第18番 変ホ長調 遺作)
- ♪ F.Mendelssohn/6 Kinderstücke Op.72, No.3 (メンデルスゾーン/6つのこども小品集 作品72 第3曲)

28

- ♪ P.I.Tchaikovsky/Children's Album “Sweet Reveries” Op.39, No.21
(チャイコフスキー/こどものためのアルバム “甘い夢” 作品39-21)
- ♪ T.Oesten/Polonaise Op.155, No.4 (エーステン/ポロネーズ 作品155-4)

《きつずピアノコース小学4年～高校の部》

17時00分～開場 17時15分～開演 演奏所要時間約60分

29

- ♪ F.F.Chopin/Polonaise No.14 in G Sharp minor, WN4 (ショパン/ポロネーズ第14番 嬰ト短調 遺作)
- ♪ A.E.Müller/Scherzo in B flat Major (ミュラー/スケルツォ 変ロ長調)

30

- ♪ Yiruma/Kiss The Rain (イルマ/キス・ザ・レイン)
- ♪ F.Mendelssohn/Lieder ohne Worte Heft 6 “Spinnerlied” C-Dur Op.67, No.4
(メンデルスゾーン/ 無言歌集 第6巻 “紡ぎ歌” ハ長調 作品67-4)

31

- ♪ F.F.Chopin/Polonaise No.12 in B flat Major, WN 1 (ショパン/ポロネーズ第12番 変ロ長調 遺作)
- ♪ P.I.Tchaikovsky /Children's Album “Song of the Lark” Op.39, No.22
(チャイコフスキー/こどものためのアルバム “ひばりの歌” 作品39-22)

32

- ♪ F.F.Chopin/Polonaise No.11 in G minor, WN2 (ショパン/ポロネーズ第11番 ト短調 遺作)
- ♪ V.Righini/Carnival dance (リギーニ/カーニバル・ダンス)

33

- ♪ R.Schumann/Album für die Jugend "Frühlingsgesang" Op.68, No.15
(シューマン/こどものためのアルバム “春の歌” 作品68-15)
- ♪ C.M.v.Weber/Waltz in A Major (ウェーバー/ワルツ イ長調)

34

- ♪ F.F.Chopin/Prelude in A Major Op.28, No.7 (ショパン/前奏曲 イ長調 作品28-7)
- ♪ E.Grieg/Lyriske smastykker No.1 “Arietta” Op.12-1 (グリーグ/叙情小曲集第1集 “アリエッタ” 作品12-1)

35

- ♪ J.F.Burgmüller/18 Etudes de genre Op.109, No.6 L'enjouée
(ブルクミュラー/18の性格的練習曲 作品109 第6曲 陽気な少女)
- ♪ F.F.Chopin/Polonaise No.13 in A flat Major, WN3 (ショパン/ポロネーズ 第13番 変イ長調 遺作)

36

- ♪ R.Schumann/Arabeske in C Major Op.18 (シューマン/アラベスク ハ長調 作品18)
- ♪ R.Schumann/Faschingsschwank aus Wien “Phantasiebilder” Op.26, No.5 Finale
(シューマン/ウィーンの謝肉祭の道化 “幻想的情景” 作品26 第5曲フィナーレ)